

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                  |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 商 品 分 類      | 追加型投信／国内／株式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                  |
| 信 託 期 間      | 約 9 年10カ月間（2013年 3 月15日～ 2023年 1 月13日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                  |
| 運 用 方 針      | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                  |
| 主 要 投 資 対 象  | ベ ビ ー フ ァ ン ド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 利回り株チャンス・マザーファンドの受益証券            |
|              | 利 回 り 株 チャンス・マザーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。） |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、わが国の金融商品取引所上場株式のうち、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収益と値上がり益の獲得をめざします。また、上記のほか、P B R（株価純資産倍率）等から割安と判断される銘柄にも投資する場合があります。</p> <p>②株式への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ．わが国の金融商品取引所上場株式のうち、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定します。</p> <p>ロ．投資候補銘柄について、財務状況、業績動向、配当政策等を分析し、組入候補銘柄を選別します。</p> <p>ハ．個々の銘柄の株価水準や流動性等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> |                                  |
| 組 入 制 限      | ベ ビ ー フ ァ ン ド のマザーファンド組入上限比率                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 無制限                              |
|              | マ ザ ー フ ァ ン ド の株 式 組 入 上 限 比 率                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 無制限                              |
| 分 配 方 針      | <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、下記イ．およびロ．に基づき分配金額を決定します。</p> <p>イ．各計算期末における収益分配前の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめどに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。</p> <p>ロ．各計算期末における収益分配前の基準価額が10,000円以下の場合、配当等収益から分配します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>                                                         |                                  |

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

利回り株チャンス13-03  
(年 4 回決算型)

運用報告書 (全体版)

第10期（決算日 2015年10月15日）  
第11期（決算日 2016年 1 月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「利回り株チャンス13-03（年 4 回決算型）」は、このたび、第11期の決算を行ないました。

ここに、第10期、第11期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託  
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2  
（営業日の 9：00～17：00）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

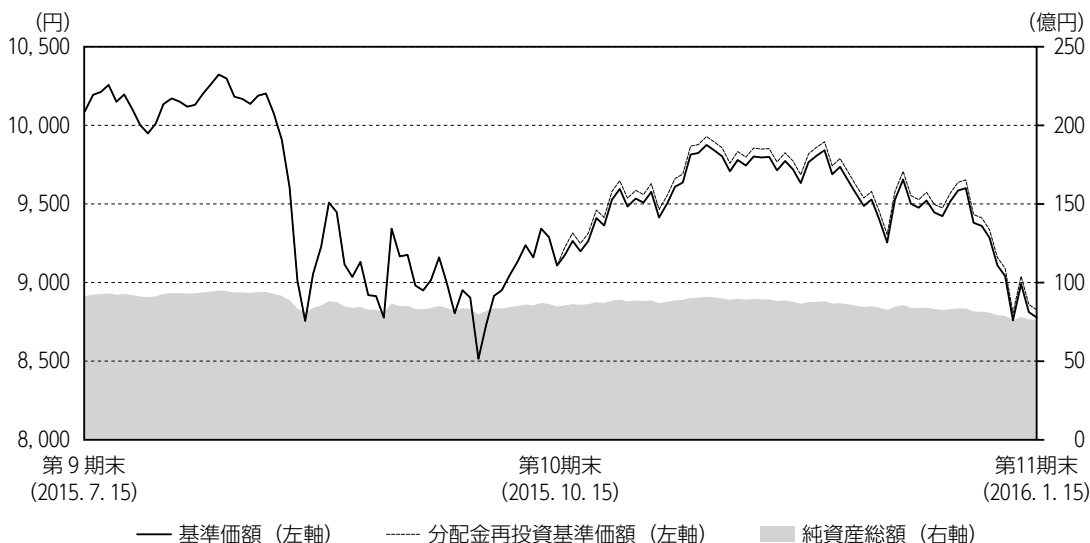
最近10期の運用実績

| 決 算 期                | 基 準 価 額 |           |           | T O P I X |           |      | 株 式 組 入 率 | 株 式 先 物 比 | 純 資 産 額 |
|----------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|---------|
|                      | (分 配 落) | 税 込 分 配 金 | 期 騰 落 中 率 | (参考指数)    | 期 騰 落 中 率 |      |           |           |         |
|                      | 円       | 円         | %         |           | %         | %    | %         |           | 百万円     |
| 2 期 末 (2013年10月15日)  | 10,010  | 270       | 0.4       | 1,197.47  | △ 1.1     | 95.4 | —         |           | 5,938   |
| 3 期 末 (2014年 1 月15日) | 10,016  | 800       | 8.1       | 1,294.52  | 8.1       | 96.8 | —         |           | 8,610   |
| 4 期 末 (2014年 4 月15日) | 8,892   | 70        | △ 10.5    | 1,136.09  | △ 12.2    | 94.7 | —         |           | 11,423  |
| 5 期 末 (2014年 7 月15日) | 9,837   | 20        | 10.9      | 1,273.68  | 12.1      | 92.1 | —         |           | 13,437  |
| 6 期 末 (2014年10月15日)  | 9,628   | 80        | △ 1.3     | 1,223.67  | △ 3.9     | 93.0 | 3.1       |           | 11,213  |
| 7 期 末 (2015年 1 月15日) | 10,043  | 400       | 8.5       | 1,376.60  | 12.5      | 88.7 | —         |           | 10,210  |
| 8 期 末 (2015年 4 月15日) | 10,070  | 1,500     | 15.2      | 1,588.81  | 15.4      | 92.8 | —         |           | 9,021   |
| 9 期 末 (2015年 7 月15日) | 10,089  | 500       | 5.2       | 1,646.41  | 3.6       | 97.9 | —         |           | 9,139   |
| 10期 末 (2015年10月15日)  | 9,175   | 50        | △ 8.6     | 1,490.72  | △ 9.5     | 97.4 | —         |           | 8,542   |
| 11期 末 (2016年 1 月15日) | 8,779   | 0         | △ 4.3     | 1,402.45  | △ 5.9     | 97.3 | —         |           | 7,630   |

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。  
(注 2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。  
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■基準価額・騰落率

第10期首：10,089円

第11期末：8,779円（既払分配金50円）

騰落率：△12.5%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

国内株式市況は、2015年8月中旬以降、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感の広がりなどから下落しました。当ファンドは、「利回り株チャンス・マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の株式に投資した結果、国内株式市況の下落を反映し基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

利回り株チャンス13-03（年４回決算型）

|      | 年 月 日             | 基 準 価 額 |        | T O P I X |        | 株組比 | 式入率  | 株先比 | 式物率 |
|------|-------------------|---------|--------|-----------|--------|-----|------|-----|-----|
|      |                   |         | 騰 落 率  | (参考指数)    | 騰 落 率  |     |      |     |     |
| 第10期 |                   | 円       | %      |           | %      |     | %    |     | %   |
|      | (期首) 2015年 7 月15日 | 10,089  | —      | 1,646.41  | —      |     | 97.9 |     | —   |
|      | 7 月末              | 10,171  | 0.8    | 1,659.52  | 0.8    |     | 95.6 |     | —   |
|      | 8 月末              | 9,447   | △ 6.4  | 1,537.05  | △ 6.6  |     | 95.6 |     | —   |
|      | 9 月末              | 8,732   | △ 13.5 | 1,411.16  | △ 14.3 |     | 93.4 |     | —   |
| 第11期 | (期末) 2015年10月15日  | 9,225   | △ 8.6  | 1,490.72  | △ 9.5  |     | 97.4 |     | —   |
|      | (期首) 2015年10月15日  | 9,175   | —      | 1,490.72  | —      |     | 97.4 |     | —   |
|      | 10月末              | 9,577   | 4.4    | 1,558.20  | 4.5    |     | 97.5 |     | —   |
|      | 11月末              | 9,633   | 5.0    | 1,580.25  | 6.0    |     | 97.9 |     | —   |
|      | 12月末              | 9,601   | 4.6    | 1,547.30  | 3.8    |     | 97.9 |     | —   |
|      | (期末) 2016年 1 月15日 | 8,779   | △ 4.3  | 1,402.45  | △ 5.9  |     | 97.3 |     | —   |

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○国内株式市況

国内株式市況は、第10期首より、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念や中国株の急落が上値の抑制要因となりました。2015年8月中旬以降は、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感の広がりや円高の進行、ドイツ大手自動車会社の排ガス不正問題の波及懸念などが重なり、株価は下落しました。10月からは、世界経済に対する過度な不安感が後退したことやE C B（欧州中央銀行）が追加金融緩和を示唆したこと、中国での追加金融緩和の実施、国内企業の良い決算などを受け、株価は上昇しました。しかし12月に入ると、E C Bの追加金融緩和が予想を下回る内容だったことや原油価格の下落、高利回り債に投資していた一部の投資ファンドの解約停止などを受け、市場参加者のリスク回避姿勢が強まり、株価は下落しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

利回り株チャンス・マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

### ○利回り株チャンス・マザーファンド

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築していきます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

利回り株チャンス・マザーファンドを高位に組み入れました。

### ○利回り株チャンス・マザーファンド

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。

株式組入比率（株式先物を含みます。）は、90%程度以上の高位を維持しました。

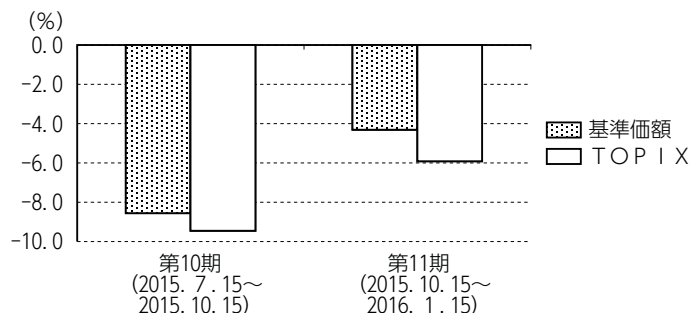
業種構成は、長期金利が上がりにくい経済状況を勘案し銀行業や保険業などのウエートを、資源価格の低下トレンドから卸売業などのウエートを、それぞれ引き下げました。一方、堅調な業績伸張から建設業や情報・通信業、空運業のウエートを引き上げました。

個別銘柄では、中期的にEPS（一株当たり利益）の着実な上昇が見込まれる日本電信電話、事業の安定性が高いことを評価したトヨタ自動車、利益成長の割にPER（株価収益率）等の株価指標面で割安感がある大和ハウスなどを組入上位銘柄として保有しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して電気機器の組入比率が低いという特徴があります。参考指数は国内株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第10期は50円といたしました。第11期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目        |     | 第10期                       | 第11期                       |
|------------|-----|----------------------------|----------------------------|
|            |     | 2015年7月16日<br>～2015年10月15日 | 2015年10月16日<br>～2016年1月15日 |
| 当期分配金（税込み） | (円) | 50                         | —                          |
| 対基準価額比率    | (%) | 0.54                       | —                          |
| 当期の収益      | (円) | 50                         | —                          |
| 当期の収益以外    | (円) | —                          | —                          |
| 翌期繰越分配対象額  | (円) | 289                        | 289                        |

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項 目                  | 第10期   | 第11期   |
|----------------------|--------|--------|
| (a) 経費控除後の配当等収益      | 54.13円 | 0.00円  |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益  | 0.00   | 0.00   |
| (c) 収益調整金            | 55.36  | 57.97  |
| (d) 分配準備積立金          | 229.51 | 231.11 |
| (e) 当期分配対象額（a+b+c+d） | 339.01 | 289.08 |
| (f) 分配金              | 50.00  | 0.00   |
| (g) 翌期繰越分配対象額（e-f）   | 289.01 | 289.08 |

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

利回り株チャンス・マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

### ○利回り株チャンス・マザーファンド

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築していきます。

## 1 万口当りの費用の明細

| 項 目     | 第10期～第11期                 |          | 項 目 の 概 要                                                          |
|---------|---------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|
|         | (2015. 7. 16～2016. 1. 15) |          |                                                                    |
|         | 金 額                       | 比 率      |                                                                    |
| 信託報酬    | 74円                       | 0. 782%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>期中の平均基準価額は9, 515円です。</b>                |
| (投信会社)  | (36)                      | (0. 380) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価             |
| (販売会社)  | (36)                      | (0. 380) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                    |
| (受託銀行)  | (2)                       | (0. 022) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                                     |
| 売買委託手数料 | 11                        | 0. 118   | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式)    | (11)                      | (0. 118) |                                                                    |
| (先物)    | (0)                       | (0. 000) |                                                                    |
| 有価証券取引税 | —                         | —        | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金   |
| その他費用   | 0                         | 0. 003   | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数                                          |
| (監査費用)  | (0)                       | (0. 003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                                        |
| 合 計     | 86                        | 0. 902   |                                                                    |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

利回り株チャンス13-03（年4回決算型）

■売買および取引の状況  
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

| 決 算 期            | 第 10 期 ～ 第 11 期 |         |         |         |
|------------------|-----------------|---------|---------|---------|
|                  | 設 定             |         | 解 約     |         |
|                  | □ 数             | 金 額     | □ 数     | 金 額     |
|                  | 千口              | 千円      | 千口      | 千円      |
| 利回り株チャンス・マザーファンド | 232,655         | 364,000 | 527,524 | 821,000 |

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

| 項 目                 | 第 10 期 ～ 第 11 期  |
|---------------------|------------------|
|                     | 利回り株チャンス・マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額       | 19,132,493千円     |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 19,129,447千円     |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.00             |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第10期～第11期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

| 決 算 期   | 第 10 期 ～ 第 11 期 |                 |                 |        |                 |       |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|-------|
|         | 買付額等 A          |                 | うち利害関係人との取引状況 B |        | 売付額等 C          |       |
| 区 分     | 買付額等 A          | うち利害関係人との取引状況 B | B / A           | 売付額等 C | うち利害関係人との取引状況 D | D / C |
|         | 百万円             | 百万円             | %               | 百万円    | 百万円             | %     |
| 株式      | 9,463           | 3,072           | 32.5            | 9,668  | 2,872           | 29.7  |
| 株式先物取引  | 57              | 57              | 100.0           | 57     | 57              | 100.0 |
| コール・ローン | 64,588          | —               | —               | —      | —               | —     |

(注) 平均保有割合43.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

| 種 類 | 第 10 期 ～ 第 11 期  |
|-----|------------------|
|     | 利回り株チャンス・マザーファンド |
|     | 買 付 額            |
| 株式  | 百万円<br>976       |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

| 項 目              | 第 10 期 ～ 第 11 期 |
|------------------|-----------------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 10,246千円        |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 3,076千円         |
| (B) / (A)        | 30.0%           |

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

| 種 類              | 第 9 期 末   | 第 11 期 末  |           |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
|                  | □ 数       | □ 数       | 評 価 額     |
|                  | 千口        | 千口        | 千円        |
| 利回り株チャンス・マザーファンド | 5,539,082 | 5,244,212 | 7,605,157 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年1月15日現在

| 項 目              | 第 11 期 末  |       |
|------------------|-----------|-------|
|                  | 評 価 額     | 比 率   |
|                  | 千円        | %     |
| 利回り株チャンス・マザーファンド | 7,605,157 | 99.2  |
| コール・ローン等、その他     | 59,026    | 0.8   |
| 投資信託財産総額         | 7,664,184 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月15日)、(2016年1月15日) 現在

| 項 目                   | 第10期末                 | 第11期末                 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>(A) 資産</b>         | <b>8,623,239,904円</b> | <b>7,664,184,253円</b> |
| コール・ローン等              | 54,962,880            | 39,026,781            |
| 利回り株チャンス・             |                       |                       |
| マザーファンド（評価額）          | 8,521,277,024         | 7,605,157,472         |
| 未収入金                  | 47,000,000            | 20,000,000            |
| <b>(B) 負債</b>         | <b>81,068,554</b>     | <b>33,818,406</b>     |
| 未払収益分配金               | 46,551,177            | —                     |
| 未払信託報酬                | 34,397,988            | 33,582,465            |
| その他未払費用               | 119,389               | 235,941               |
| <b>(C) 純資産総額（A－B）</b> | <b>8,542,171,350</b>  | <b>7,630,365,847</b>  |
| 元本                    | 9,310,235,554         | 8,692,089,438         |
| 次期繰越損益金               | △ 768,064,204         | △ 1,061,723,591       |
| <b>(D) 受益権総口数</b>     | <b>9,310,235,554口</b> | <b>8,692,089,438口</b> |
| 1万口当り基準価額（C／D）        | 9,175円                | 8,779円                |

\*第9期末における元本額は9,058,860,825円、当作成期間（第10期～第11期）中に  
おける追加設定元本額は567,906,888円、同解約元本額は934,678,275円です。

\*第11期末の計算口数当りの純資産額は8,779円です。

\*第11期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,061,723,591円です。

## ■損益の状況

第10期 自2015年7月16日 至2015年10月15日  
第11期 自2015年10月16日 至2016年1月15日

| 項 目                     | 第10期                 | 第11期                   |
|-------------------------|----------------------|------------------------|
| <b>(A) 配当等収益</b>        | <b>6,832円</b>        | <b>3,618円</b>          |
| 受取利息                    | 6,832                | 3,618                  |
| <b>(B) 有価証券売買損益</b>     | <b>△ 744,540,399</b> | <b>△ 313,795,369</b>   |
| 売買益                     | 19,006,916           | 29,025,734             |
| 売買損                     | △ 763,547,315        | △ 342,821,103          |
| <b>(C) 信託報酬等</b>        | <b>△ 34,517,377</b>  | <b>△ 33,699,017</b>    |
| <b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b> | <b>△ 779,050,944</b> | <b>△ 347,490,768</b>   |
| <b>(E) 前期繰越損益金</b>      | <b>213,679,688</b>   | <b>△ 565,086,643</b>   |
| <b>(F) 追加信託差損益金</b>     | <b>△ 156,141,771</b> | <b>△ 149,146,180</b>   |
| （配当等相当額）                | （ 51,545,575）        | （ 50,392,003）          |
| （売買損益相当額）               | （△ 207,687,346）      | （△ 199,538,183）        |
| <b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>    | <b>△ 721,513,027</b> | <b>△ 1,061,723,591</b> |
| <b>(H) 収益分配金</b>        | <b>△ 46,551,177</b>  | <b>—</b>               |
| 次期繰越損益金（G＋H）            | △ 768,064,204        | △ 1,061,723,591        |
| 追加信託差損益金                | △ 156,141,771        | △ 149,146,180          |
| （配当等相当額）                | （ 51,545,575）        | （ 50,392,003）          |
| （売買損益相当額）               | （△ 207,687,346）      | （△ 199,538,183）        |
| 分配準備積立金                 | 217,534,046          | 200,884,258            |
| 繰越損益金                   | △ 829,456,479        | △ 1,113,461,669        |

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目                  | 第10期           | 第11期           |
|----------------------|----------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益      | 50,405,535円    | 0円             |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益  | 0              | 0              |
| (c) 収益調整金            | 51,545,575     | 50,392,003     |
| (d) 分配準備積立金          | 213,679,688    | 200,884,258    |
| (e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d） | 315,630,798    | 251,276,261    |
| (f) 分配金              | 46,551,177     | 0              |
| (g) 翌期繰越分配対象額（e－f）   | 269,079,621    | 251,276,261    |
| (h) 受益権総口数           | 9,310,235,554口 | 8,692,089,438口 |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ |           |
|---------------------|-----------|
| 1 万 口 当 り 分 配 金     | 第 10 期    |
|                     | 50円       |
| (単 価)               | (9, 175円) |

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用があります。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# 利回り株チャンス・マザーファンド

## 運用報告書 第3期 (決算日 2016年1月15日)

(計算期間 2015年1月16日～2016年1月15日)

利回り株チャンス・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用方針   | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 運用方法   | <p>①主として、わが国の金融商品取引所上場株式のうち、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄に投資し、高水準の配当収益と値上がり益の獲得をめざします。また、上記のほか、PBR（株価純資産倍率）等から割安と判断される銘柄にも投資する場合があります。</p> <p>②株式への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ．わが国の金融商品取引所上場株式のうち、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定します。</p> <p>ロ．投資候補銘柄について、財務状況、業績動向、配当政策等を分析し、組入候補銘柄を選別します。</p> <p>ハ．個々の銘柄の株価水準や流動性等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。</p> |
| 株式組入制限 | 無制限                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

## 大和投資信託

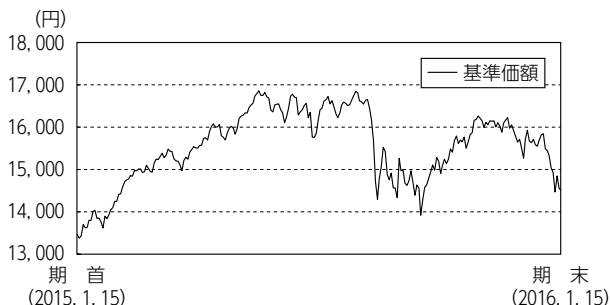
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 利回り株チャンス・マザーファンド

### ■当期中の基準価額と市況の推移



| 年 月 日             | 基 準 価 額 |      | T O P I X |      | 株 式 組 入 率 | 株 式 先 物 率 |
|-------------------|---------|------|-----------|------|-----------|-----------|
|                   | 円       | 騰落率  | (参考指数)    | 騰落率  |           |           |
| (期 首) 2015年 1月15日 | 13,464  | —    | 1,376.60  | —    | 85.7      | —         |
| 1月末               | 13,855  | 2.9  | 1,415.07  | 2.8  | 97.5      | —         |
| 2月末               | 14,972  | 11.2 | 1,523.85  | 10.7 | 94.9      | —         |
| 3月末               | 15,117  | 12.3 | 1,543.11  | 12.1 | 93.3      | —         |
| 4月末               | 15,801  | 17.4 | 1,592.79  | 15.7 | 93.7      | —         |
| 5月末               | 16,798  | 24.8 | 1,673.65  | 21.6 | 96.8      | —         |
| 6月末               | 16,367  | 21.6 | 1,630.40  | 18.4 | 96.5      | —         |
| 7月末               | 16,597  | 23.3 | 1,659.52  | 20.6 | 95.9      | —         |
| 8月末               | 15,432  | 14.6 | 1,537.05  | 11.7 | 95.9      | —         |
| 9月末               | 14,278  | 6.0  | 1,411.16  | 2.5  | 93.7      | —         |
| 10月末              | 15,771  | 17.1 | 1,558.20  | 13.2 | 97.7      | —         |
| 11月末              | 15,883  | 18.0 | 1,580.25  | 14.8 | 97.9      | —         |
| 12月末              | 15,850  | 17.7 | 1,547.30  | 12.4 | 97.9      | —         |
| (期 末) 2016年 1月15日 | 14,502  | 7.7  | 1,402.45  | 1.9  | 97.7      | —         |

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

### 《運用経過》

#### ◆基準価額等の推移について

##### 【基準価額・騰落率】

期首：13,464円 期末：14,502円 騰落率：7.7%

##### 【基準価額の主な変動要因】

国内株式市況は、期首より、内外経済の改善や好需給を背景として上昇基調で推移しました。しかし2015年8月中旬以降、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感の広がりなどから下落しました。当ファンドは主としてわが国の株式に投資した結果、国内株式市況の上昇を反映し基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### ◆投資環境について

##### ○国内株式市況

国内株式市況は、期首より、ECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の決定や国内景気の持ち直し、春闘でのベア高め妥結、日銀・GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）を背景とする良好な株式需給関係の継続、さらなる円安の進行などを受けて、大き

く上昇しました。2015年6月から8月上旬は、ギリシャ支援協議の難航や中国株が急落したことなどから、上値の重い展開となりました。中旬以降は、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感の広がりや円高の進行などから、株価は下落に転じました。10月からは、世界経済に対する過度な不安感が後退したことやECBが追加金融緩和を示唆したこと、中国での追加金融緩和の実施、国内企業の良好な決算などを受け、株価は上昇しました。しかし12月に入ると、ECBの追加金融緩和が予想を下回る内容だったことや原油価格の下落、高利回り債に投資していた一部の投資ファンドの解約停止などをを受け、市場参加者のリスク回避姿勢が強まり、株価は下落しました。

#### ◆前期における「今後の運用方針」

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から、財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築していきます。

#### ◆ポートフォリオについて

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。

株式組入比率（株式先物を含みます。）は、90%程度以上の高位を維持しました。

業種構成は、円安トレンドがいったん途絶えたことから輸送用機器などのウエートを引き下げました。一方、景気先行き懸念が台頭する中での業績の安定的な成長を評価し、情報・通信業のウエートを引き上げました。

個別銘柄では、中期的にEPS（一株当たり利益）の着実な上昇が見込まれる日本電信電話、事業の安定性が高いことを評価したトヨタ自動車、利益成長の割にPER（株価収益率）等の株価指標面で割安感がある大和ハウスなどを組入上位銘柄として保有しました。

#### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数（TOPIX）と比較して電気機器の組入比率が低いという特徴があります。参考指数は国内株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ7.7%、1.9%となりました。

### 《今後の運用方針》

わが国の株式の中から、相対的に予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資候補銘柄を選定し、その中から、財務状況、業績動向、配当政策、株価水準、流動性等を勘案して銘柄を選別し、ポートフォリオを構築していきます。

■ 1 万口当りの費用の明細

| 項 目     | 当 期  |
|---------|------|
| 売買委託手数料 | 42円  |
| （株式）    | (41) |
| （先物）    | (1)  |
| 有価証券取引税 | —    |
| その他費用   | —    |
| 合 計     | 42   |

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

（注 2）各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2015 年 1 月 16 日から 2016 年 1 月 15 日まで)

|    | 買 付                |                    | 売 付      |            |
|----|--------------------|--------------------|----------|------------|
|    | 株 数                | 金 額                | 株 数      | 金 額        |
|    | 千株                 | 千円                 | 千株       | 千円         |
| 国内 | 27,061.6<br>( 235) | 27,582,169<br>( —) | 32,500.9 | 31,064,629 |

（注 1）金額は受渡し代金。

（注 2）( ) 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注 3）金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2015 年 1 月 16 日から 2016 年 1 月 15 日まで)

| 種 類 別  | 買 建   |       | 売 建   |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
|        | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 国 内    | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円   |
| 株式先物取引 | 3,642 | 3,654 | —     | —     |

（注 1）金額は受渡し代金。

（注 2）単位未満は切捨て。

利回り株チャンス・マザーファンド

■主要な売買銘柄  
株 式

(2015年 1月16日から2016年 1月15日まで)

| 当 期         |        |             |         | 期                |        |             |        |
|-------------|--------|-------------|---------|------------------|--------|-------------|--------|
| 買           |        | 付           |         | 売                |        | 付           |        |
| 銘 柄         | 株 数    | 金 額         | 平均単価    | 銘 柄              | 株 数    | 金 額         | 平均単価   |
|             | 千株     | 千円          | 円       |                  | 千株     | 千円          | 円      |
| 日本航空        | 295    | 1, 226, 748 | 4, 158  | トヨタ自動車           | 234. 8 | 1, 822, 392 | 7, 761 |
| 大和ハウス       | 350    | 986, 164    | 2, 817  | 本田技研             | 216    | 844, 349    | 3, 909 |
| 日本電信電話      | 185    | 973, 264    | 5, 260  | 三菱商事             | 315    | 755, 503    | 2, 398 |
| みずほフィナンシャルG | 3, 150 | 715, 804    | 227     | 損保ジャパン興亜HD       | 200    | 733, 559    | 3, 667 |
| ファナック       | 28     | 700, 194    | 25, 006 | みずほフィナンシャルG      | 2, 550 | 588, 984    | 230    |
| 損保ジャパン興亜HD  | 160    | 663, 769    | 4, 148  | 三菱 UFJ フィナンシャル G | 780    | 585, 570    | 750    |
| 野村ホールディングス  | 750    | 601, 250    | 801     | キャノン             | 140    | 570, 811    | 4, 077 |
| MS & AD     | 135    | 498, 965    | 3, 696  | 三井物産             | 335    | 535, 108    | 1, 597 |
| 東京海上HD      | 105    | 483, 584    | 4, 605  | KDDI             | 190    | 530, 915    | 2, 794 |
| NTTドコモ      | 195    | 472, 012    | 2, 420  | 日本航空             | 115    | 507, 592    | 4, 413 |

(注 1) 金額は受渡し代金。  
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
国内株式

| 銘 柄            | 期 首 | 当 期 末 |          |
|----------------|-----|-------|----------|
|                | 株 数 | 株 数   | 評 価 額    |
|                | 千株  | 千株    | 千円       |
| 水産・農林業 (0. 8%) |     |       |          |
| サカタのタネ         | —   | 55    | 142, 340 |
| 建設業 (11. 6%)   |     |       |          |
| 西松建設           | 300 | 340   | 151, 300 |
| 前田建設           | 200 | 50    | 36, 750  |
| 戸田建設           | 300 | —     | —        |
| ピーエス三菱         | 300 | —     | —        |
| 大東建託           | 15  | 17    | 242, 335 |
| 日本道路           | —   | 100   | 56, 600  |
| 大和ハウス          | —   | 300   | 958, 200 |
| 積水ハウス          | —   | 50    | 91, 700  |
| 日特建設           | 60  | 105   | 47, 040  |
| 東京エネシス         | —   | 110   | 103, 070 |
| 九電工            | —   | 118   | 269, 276 |
| 食料品 (1. 0%)    |     |       |          |
| 麒麟HD           | 120 | —     | —        |
| 日本たばこ産業        | 160 | 40    | 163, 200 |
| 繊維製品 (0. 3%)   |     |       |          |
| アツギ            | —   | 500   | 57, 000  |
| パルプ・紙 (—)      |     |       |          |
| 王子ホールディングス     | 600 | —     | —        |
| 化学 (2. 9%)     |     |       |          |
| 旭化成            | 180 | —     | —        |
| 住友化学           | 200 | 130   | 74, 490  |
| 東ソー            | —   | 100   | 55, 500  |
| デンカ            | 500 | 140   | 68, 180  |
| 堺化学            | 300 | —     | —        |

| 銘 柄              | 期 首    | 当 期 末 |          |
|------------------|--------|-------|----------|
|                  | 株 数    | 株 数   | 評 価 額    |
|                  | 千株     | 千株    | 千円       |
| 三菱ケミカルHDGS       | 200    | —     | —        |
| 積水化学             | 70     | —     | —        |
| 太陽ホールディングス       | 35     | 13    | 55, 055  |
| DI C             | —      | 300   | 89, 400  |
| ポーラ・オルビスHD       | —      | 20    | 147, 400 |
| 有沢製作所            | 150    | —     | —        |
| 医薬品 (3. 0%)      |        |       |          |
| 武田薬品             | 50     | 20    | 111, 760 |
| アステラス製薬          | —      | 100   | 158, 550 |
| エーザイ             | —      | 15    | 108, 435 |
| 栄研化学             | —      | 28    | 66, 136  |
| ダイト              | 20     | —     | —        |
| 大塚ホールディングス       | 60     | 15    | 59, 550  |
| 石油・石炭製品 (0. 3%)  |        |       |          |
| J Xホールディングス      | 300    | 100   | 43, 360  |
| ゴム製品 (1. 0%)     |        |       |          |
| ブリヂストン           | 80     | 45    | 177, 435 |
| ニチリン             | 25     | —     | —        |
| ガラス・土石製品 (0. 3%) |        |       |          |
| 日本電気硝子           | —      | 100   | 55, 300  |
| 日本コンクリート         | 200    | —     | —        |
| 東海カーボン           | 300    | —     | —        |
| 鉄鋼 (0. 5%)       |        |       |          |
| 新日鐵住金            | —      | 10    | 21, 470  |
| 神戸製鋼所            | 1, 000 | —     | —        |
| J F E ホールディングス   | —      | 15    | 25, 177  |
| 日新製鋼             | 200    | 40    | 46, 000  |

| 銘柄                   | 期首    | 当期末 |           |
|----------------------|-------|-----|-----------|
|                      | 株数    | 株数  | 評価額       |
|                      | 千株    | 千株  | 千円        |
| メタルアート               | 30    | —   | —         |
| <b>非鉄金属 (0.7%)</b>   |       |     |           |
| 日本軽金属HD              | —     | 200 | 38,600    |
| 住友鉱山                 | 70    | 40  | 48,780    |
| 住友電工                 | —     | 20  | 30,260    |
| <b>金属製品 (0.3%)</b>   |       |     |           |
| 三和ホールディングス           | —     | 60  | 53,400    |
| L I X I Lグループ        | 40    | —   | —         |
| ジーテクト                | 100   | —   | —         |
| <b>機械 (3.0%)</b>     |       |     |           |
| アマダホールディングス          | —     | 100 | 107,300   |
| 旭ダイヤモンド              | —     | 70  | 81,970    |
| DMG森精機               | 80    | —   | —         |
| ディスコ                 | —     | 7   | 72,590    |
| 東洋機械金属               | 70    | —   | —         |
| やまびこ                 | —     | 40  | 35,720    |
| ベガサスミシン製造            | —     | 170 | 73,950    |
| 日精樹脂工業               | —     | 55  | 47,575    |
| 小松製作所                | 130   | —   | —         |
| アイチコーポレーション          | —     | 110 | 86,130    |
| <b>電気機器 (4.8%)</b>   |       |     |           |
| 日立                   | —     | 150 | 90,690    |
| オリジン電気               | 220   | —   | —         |
| ダブル・スコープ             | —     | 80  | 296,400   |
| ダイヘン                 | 200   | —   | —         |
| オムロン                 | —     | 30  | 106,500   |
| 日本信号                 | —     | 50  | 57,300    |
| S M K                | —     | 90  | 52,290    |
| スミダコーポレーション          | 140   | —   | —         |
| 日本デジタル研究所            | 20    | —   | —         |
| 山一電機                 | 250   | —   | —         |
| ファナック                | —     | 11  | 203,665   |
| ローム                  | 30    | —   | —         |
| キヤノン                 | 140   | —   | —         |
| リコー                  | 270   | —   | —         |
| <b>輸送用機器 (11.7%)</b> |       |     |           |
| デンソー                 | —     | 45  | 227,295   |
| 三井造船                 | 1,100 | —   | —         |
| 名村造船所                | —     | 60  | 51,360    |
| 日産自動車                | 330   | 280 | 309,680   |
| いすゞ自動車               | 80    | 30  | 35,220    |
| トヨタ自動車               | 380   | 160 | 1,081,440 |
| タチエス                 | 80    | —   | —         |
| カルソニックカンセイ           | 400   | —   | —         |
| 本田技研                 | 210   | 30  | 104,790   |
| 富士重工業                | —     | 40  | 175,680   |
| <b>精密機器 (—)</b>      |       |     |           |
| 東京計器                 | 300   | —   | —         |
| HOYA                 | 60    | —   | —         |

| 銘柄                       | 期首    | 当期末   |           |
|--------------------------|-------|-------|-----------|
|                          | 株数    | 株数    | 評価額       |
|                          | 千株    | 千株    | 千円        |
| <b>電気・ガス業 (0.3%)</b>     |       |       |           |
| 大阪瓦斯                     | —     | 100   | 43,080    |
| <b>陸運業 (1.7%)</b>        |       |       |           |
| 西日本旅客鉄道                  | —     | 25    | 195,475   |
| センコー                     | —     | 130   | 97,890    |
| <b>海運業 (—)</b>           |       |       |           |
| N S ユナイテッド海運             | 200   | —     | —         |
| <b>空運業 (4.9%)</b>        |       |       |           |
| 日本航空                     | —     | 180   | 782,460   |
| パスコ                      | —     | 95    | 41,040    |
| <b>倉庫・運輸関連業 (0.5%)</b>   |       |       |           |
| 三井倉庫H O L D              | 200   | —     | —         |
| キューソー流通システム              | 50    | 30    | 76,800    |
| <b>情報・通信業 (16.2%)</b>    |       |       |           |
| エムアップ                    | —     | 65    | 37,830    |
| S R Aホールディングス            | —     | 30.2  | 77,130    |
| 日本電信電話                   | 90    | 300   | 1,437,300 |
| K D D I                  | 90    | 200   | 567,200   |
| N T T ドコモ                | 80    | 230   | 555,795   |
| ジャステック                   | 35    | 69.5  | 58,727    |
| <b>卸売業 (5.1%)</b>        |       |       |           |
| エフティグループ                 | —     | 90    | 59,940    |
| 横浜冷凍                     | —     | 90    | 91,890    |
| U K Cホールディングス            | —     | 40    | 95,880    |
| 黒田電気                     | —     | 20    | 40,700    |
| 伊藤忠                      | —     | 125   | 163,750   |
| 三井物産                     | 200   | 70    | 91,980    |
| 住友商事                     | —     | 80    | 90,520    |
| 三菱商事                     | 300   | 75    | 140,400   |
| 加賀電子                     | 70    | —     | —         |
| 日本電計                     | 70    | 55    | 82,830    |
| <b>小売業 (1.4%)</b>        |       |       |           |
| ローソン                     | —     | 8     | 74,400    |
| スクロール                    | —     | 260   | 101,140   |
| イオン                      | 100   | —     | —         |
| ヤマダ電機                    | —     | 100   | 57,600    |
| <b>銀行業 (11.6%)</b>       |       |       |           |
| ゆうちょ銀行                   | —     | 50    | 77,500    |
| あおぞら銀行                   | —     | 100   | 40,000    |
| 三菱UFJフィナンシャルG            | 1,700 | 950   | 638,400   |
| りそなホールディングス              | 300   | —     | —         |
| 三井住友トラストHD               | 1,100 | 180   | 73,764    |
| 三井住友フィナンシャルG             | 130   | 100   | 417,200   |
| ふくおかフィナンシャルG             | —     | 90    | 49,590    |
| みずほフィナンシャルG              | 2,400 | 3,000 | 667,200   |
| <b>証券・商品先物取引業 (3.2%)</b> |       |       |           |
| ジャフコ                     | —     | 18    | 68,490    |
| 野村ホールディングス               | 500   | 700   | 428,400   |
| 岡三証券グループ                 | 300   | —     | —         |

利回り株チャンス・マザーファンド

| 銘 柄           | 期 首      | 当 期 末 |               |
|---------------|----------|-------|---------------|
|               | 株 数      | 株 数   | 評 価 額         |
|               | 千株       | 千株    | 千円            |
| いちよし証券        | —        | 45    | 46,440        |
| マネースクウェアHD    | —        | 2     | 2,634         |
| 保険業 (5.6%)    |          |       |               |
| 損保ジャパン興亜HD    | 80       | 40    | 137,520       |
| MS & AD       | —        | 60    | 183,540       |
| 第一生命          | —        | 30    | 52,035        |
| 東京海上HD        | 110      | 140   | 571,200       |
| その他金融業 (2.7%) |          |       |               |
| 東京センチュリーリース   | —        | 19    | 76,855        |
| 日立キャピタル       | —        | 30    | 86,550        |
| オリックス         | —        | 110   | 175,285       |
| 日本取引所グループ     | —        | 70    | 116,480       |
| 不動産業 (0.3%)   |          |       |               |
| サンフロンティア不動産   | —        | 50    | 44,400        |
| サービス業 (4.4%)  |          |       |               |
| ミクシィ          | —        | 14    | 56,140        |
| UTグループ        | —        | 120   | 61,320        |
| トラスト・テック      | —        | 17    | 40,137        |
| キャリアデザインセンター  | —        | 85    | 94,180        |
| ウェルネット        | —        | 14    | 37,520        |
| クイック          | 40       | 83    | 72,874        |
| テクノプロ・ホールディング | —        | 27    | 86,940        |
| 日本郵政          | —        | 70    | 119,350       |
| イチネンホールディングス  | 65       | 65    | 67,210        |
| セコム           | 30       | —     | —             |
| アサツー ディ・ケイ    | —        | 40    | 102,920       |
| 合 計           | 株 数、金 額  | 千株    | 千円            |
|               | 銘柄数 <比率> | 75銘柄  | 107銘柄 <97.7%> |

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

| 項 目          | 2016年1月15日現在 |       |
|--------------|--------------|-------|
|              | 当 期 末        |       |
|              | 評 価 額        | 比 率   |
|              | 千円           | %     |
| 株式           | 16,904,426   | 96.3  |
| コール・ローン等、その他 | 647,072      | 3.7   |
| 投資信託財産総額     | 17,551,499   | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

| 2016年1月15日現在    |                 |
|-----------------|-----------------|
| 項 目             | 当 期 末           |
| (A)資産           | 17,551,499,654円 |
| コール・ローン等        | 486,496,022     |
| 株式 (評価額)        | 16,904,426,800  |
| 未収入金            | 133,361,832     |
| 未収配当金           | 27,215,000      |
| (B)負債           | 242,615,265     |
| 未払金             | 202,615,265     |
| 未払解約金           | 40,000,000      |
| (C)純資産総額 (A－B)  | 17,308,884,389  |
| 元本              | 11,935,911,541  |
| 次期繰越損益金         | 5,372,972,848   |
| (D)受益権総口数       | 11,935,911,541口 |
| 1万口当り基準価額 (C／D) | 14,502円         |

\* 期首における元本額は16,576,439,999円、当中における追加設定元本額は3,473,631,101円、同解約元本額は8,114,159,559円です。  
\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、利回り株チャンス13-03 (年4回決算型) 5,244,212,848円、利回り株チャンス 米ドル型 (年4回決算型) 6,691,698,693円です。  
\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,502円です。

■損益の状況

| 当期 自2015年1月16日 至2016年1月15日 |               |
|----------------------------|---------------|
| 項 目                        | 当 期 末         |
| (A)配当等収益                   | 489,762,375円  |
| 受取配当金                      | 488,384,140   |
| 受取利息                       | 372,979       |
| その他収益金                     | 1,005,256     |
| (B)有価証券売買損益                | 1,260,258,042 |
| 売買益                        | 3,364,908,190 |
| 売買損                        | 2,104,650,148 |
| (C)先物取引等損益                 | 12,580,333    |
| 取引益                        | 21,205,491    |
| 取引損                        | 8,625,158     |
| (D)当期損益金 (A + B + C)       | 1,762,600,750 |
| (E)前期繰越損益金                 | 5,741,643,640 |
| (F)解約差損益金                  | 4,015,640,441 |
| (G)追加信託差損益金                | 1,884,368,899 |
| (H)合計 (D + E + F + G)      | 5,372,972,848 |
| 次期繰越損益金 (H)                | 5,372,972,848 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。